

調査結果の概要

1 人口と世帯の概況

(令和2年1月1日現在)

総人口 2,046,660人 18年連続の減少

世帯数 829,683世帯

一世帯当たり人員 2.5人

令和2年1月1日現在の本県の総人口は2,046,660人で、前年に比べ14,393人減少しています。世帯数は829,683世帯で、前年に比べ5,185世帯増加しています。また、一世帯当たりの人員は2.5人となっています。(表1)

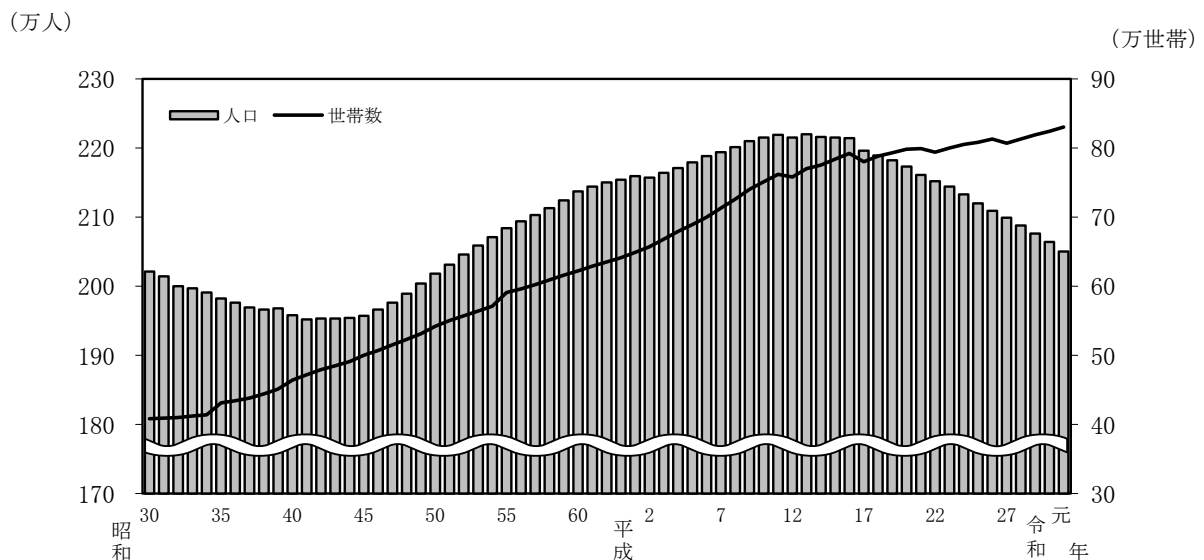
表1 人口と世帯数の状況

調査時点	世帯数 (世帯)	人口(人)			1世帯当たり 人口(人)	人口密度 (人/km ²)
		総数	男	女		
令和2年1月1日	829,683	2,046,660	998,998	1,047,662	2.5	150.9
平成31年1月1日	824,498	2,061,053	1,005,155	1,055,898	2.5	152.0
増減	5,185	△14,393	△6,157	△8,236	0.0	△1.1

10月1日現在の総人口の推移をみると、昭和30年以降、昭和40年代中頃まで減少傾向が続いた後、第二次ベビーブームや社会増加(転入超過)等により増加に転じ、平成13年に過去最高の2,220,208人となりましたが、それ以降は、自然減少と社会減少により、18年連続で減少しています。

また、世帯数の推移をみると、単身世帯の増加等により、昭和30年以降増加が続いています。(図1)

図1 人口と世帯の推移



注) 各年10月1日現在

昭和30年から平成27年までの5年ごとは、国勢調査結果による。

国勢調査実施年以外の年は毎月人口異動(報告)調査による。

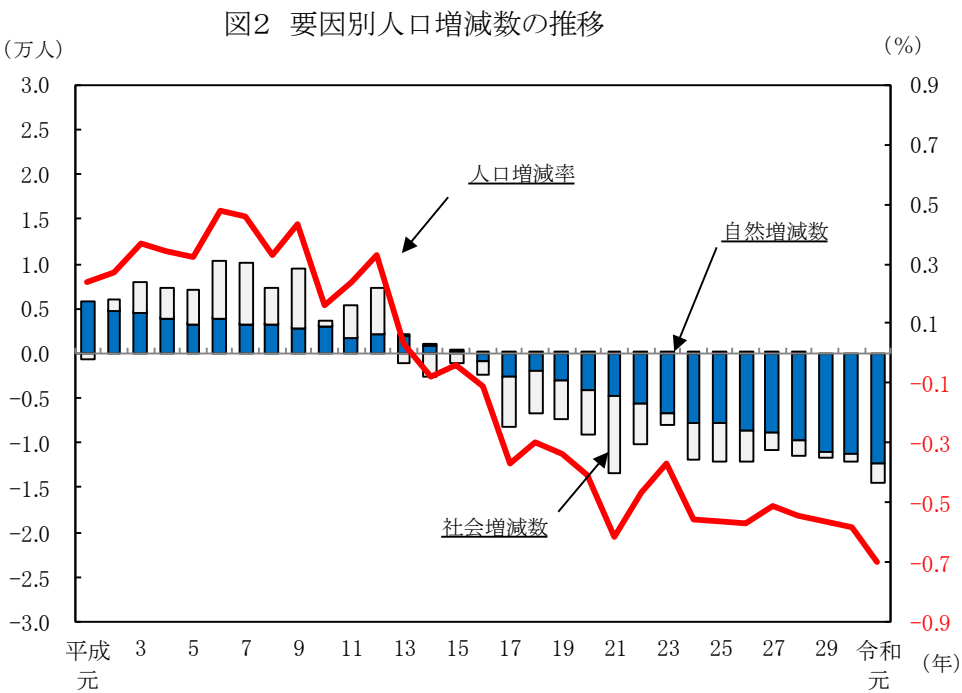
年間人口増減数 △ 14, 393人 人口増減率 △ 0. 70 %

平成 31 年 1 月から令和元年 12 月までの 1 年間の人口増減は 14,393 人の減少で、8 年連続で 1 万人を超える減少となっています。また、平成 31 年 1 月 1 日現在の総人口に対する人口増減率は△0.70%となっています。

人口増減の内訳をみると、自然動態が 12,305 人の減少、社会動態が 2,088 人の減少となり、自然動態は、平成 16 年以降減少が続いています。(表2、図2)

表2 人口増減の状況

年 次	人口増減数 (人) f + e	人口増減率 (%)	自然動態 (人)			社会動態 (人)			
			自然増減 f (a -b)	出生 a	死亡 b	社会増減 e (c -d + g)	転入 c	転出 d	その他 増減 g
令和元年 (平成31年1月～令和元年12月)	△ 14,393	△0.70	△ 12,305	13,750	26,055	△ 2,088	38,323	39,469	△ 942
平成30年 (平成30年1月～12月)	△ 12,116	△0.58	△ 11,160	14,351	25,511	△ 956	38,264	38,034	△ 1,186
差	△ 2,277	△ 0.12	△ 1,145	△ 601	544	△ 1,132	59	1,435	244



注) 各年 1 月～12 月の年間増減
毎月人口異動調査による

人口減少 19市20町30村 人口増加 3町5村

令和2年1月1日現在の市町村別人口をみると、長野市 369,764 人、松本市 240,178 人、上田市 153,868 人で10 万人以上の市が3 市あり、上位 10 市で総人口の 63.6%を占めています。

一方、人口が最も少ないのは、平谷村の 404 人で、続いて 売木村 520 人、北相木村 727 人の順となっています。

平成 31 年1月から令和元年 12 月までの1年間の人口増減をみると、人口が増加したのは 8 町村(前年8町村)、人口が減少したのは 69 市町村(前年 68 市町村)となっています。

人口増減率が最も高いのは御代田町で 1.32%、自然増減率が最も高いのは南箕輪村で 0.10%、社会増減率が最も高いのは御代田町で 1.70%となっています。(表3、図3)

表3 人口、人口増減率、自然増減率、社会増減率の上位・下位市町村

順位	令和2年1月1日現在人口			人口増減率		自然増減率		社会増減率	
	市町村	人口(人)	県人口に占める割合(%)	市町村	割合(%)	市町村	割合(%)	市町村	割合(%)
1	長野市	369,764	18.07	御代田町	1.32	南箕輪村	0.10	御代田町	1.70
2	松本市	240,178	11.74	南箕輪村	1.00	宮田村	△ 0.25	野沢温泉村	1.37
3	上田市	153,868	7.52	野沢温泉村	0.46	箕輪町	△ 0.29	泰阜村	1.32
4	佐久市	98,601	4.82	白馬村	0.42	松本市	△ 0.35	白馬村	1.15
5	飯田市	98,014	4.79	原村	0.42	茅野市	△ 0.36	原村	1.07
6	安曇野市	94,372	4.61	川上村	0.29	朝日村	△ 0.37	川上村	1.01
7	塩尻市	66,545	3.25	小布施町	0.26	中川村	△ 0.38	南箕輪村	0.91
8	伊那市	66,477	3.25	軽井沢町	0.16	御代田町	△ 0.39	小布施町	0.80
9	千曲市	59,100	2.89	箕輪町	△ 0.14	塩尻市	△ 0.45	池田町	0.78
10	茅野市	55,423	2.71	駒ヶ根市	△ 0.29	長野市	△ 0.46	軽井沢町	0.69
↓	↓			↓		↓		↓	
68	生坂村	1,663	0.08	南相木村	△ 2.88	小川村	△ 1.80	立科町	△ 1.18
69	泰阜村	1,577	0.08	木祖村	△ 2.95	売木村	△ 1.89	信濃町	△ 1.20
70	天龍村	1,168	0.06	北相木村	△ 3.07	泰阜村	△ 1.89	大桑村	△ 1.20
71	大鹿村	957	0.05	平谷村	△ 3.12	南相木村	△ 1.92	栄村	△ 1.26
72	南相木村	909	0.04	王滝村	△ 3.16	麻績村	△ 1.93	王滝村	△ 1.45
73	根羽村	861	0.04	栄村	△ 3.21	栄村	△ 1.95	北相木村	△ 1.47
74	王滝村	736	0.04	筑北村	△ 3.33	木祖村	△ 2.27	上松町	△ 1.70
75	北相木村	727	0.04	天龍村	△ 3.63	上松町	△ 2.41	筑北村	△ 1.76
76	売木村	520	0.03	小川村	△ 4.06	阿南町	△ 2.47	平谷村	△ 2.16
77	平谷村	404	0.02	上松町	△ 4.11	天龍村	△ 3.80	小川村	△ 2.25
-	県計	2,046,660	-	-	△ 0.70	-	△ 0.60	-	△ 0.10

注) 人口増減率(%) = $\frac{\text{1年間の人口増減数}}{\text{平成31年1月1日現在人口}} \times 100$

自然増減率(%) = $\frac{\text{1年間の自然増減数}}{\text{平成31年1月1日現在人口}} \times 100$

社会増減率(%) = $\frac{\text{1年間の社会増減数}}{\text{平成31年1月1日現在人口}} \times 100$

図3 市町村別人口の増減率（令和元年）

